

地区	名称	回	会議日程・参加者等	会議の内容	主な意見 経 過	地区としての取り組み テーマ・概要 (中間報告の主な内容)	令和8年度の 主な予定
庄和	庄和地区地域づくり 推進協議会 会 長：細谷 悟 (西金野井西区自治会) 副会長：森田 伝 (米崎区自治会)	第1回	・令和7年8月20日 (水) 10:00～11:40 ・委員11人 傍聴人 3人	【報告事項】 ・春日部市地域づくり推進協議会条例の概要 ・公民館＋地区センター（新たな機能） ＝市民センターの概要について ・令和6年度 庄和市民センター正風館の事業 報告について ・令和6年度 庄和市民センター正風館 地域 づくり推進会議の協議結果について ・令和7年度の新たな取組について 【協議事項】 ・今後のスケジュール及び会議の進め方 (案) について ・市民センターを拠点とした地域づくりに 関して必要な意見交換	・一口に「まちづくり」といっても、実際に進めて いくことは非常に難しい。大きな課題である。 ・庄和地域を盛り上げるためには、世代間交流が必 要である。 ・若い世代に地区体育祭へ参加してもらいたい。 ・子育てと並行して協議会や会議に参加するのは難 しい。対応が必要である。	①既存イベントのアップデートにより 若い世代が集う地域づくり ②地域一体となった防災体制の構築 によって、正風館を拠点とした地域住民 主体の地域づくりにつながると結論づけた。 ①について、新たなイベントの導入は行わず、 主に『庄和地区体育祭』、『公民館まつり』をアップ デートさせることにより、より多くの世代、多くの 人に参加して頂けるようなイベントにし、交流の場と して発展させていくこととした。 ②について、自治会連合会を筆頭に防災組織的 なものを立ち上げ、防災士のネットワークを通して、 行政とも協力し合いながら有事の際に進めていける べく組織づくり、訓練等の実践を行うことを目標とし た。 また、今後の協議会を推し進める指針として、 議論の分析から、 ・話し合い、意見交換、情報の共有化 ・協力し持ち寄って調整していく協調 ・情報の共有化、協調から生まれる信頼 関係 のキーワードを導き、協議会の中で浸透させなが ら、一体となって議論を進めていきたいと考えた。	・ 協議会3～4回開催予定 ・ 答申作成に向けて、対応策等 について協議 ①既存事業の評価、効果的実施 の検討→企画→実施 ・ 各実行委員会委員にアンケー ト、ヒアリングを実施。 ②先進事例の研究、現状の把握 → 訓練等の実施など
		第2回	・令和7年12月3日 (水) 10:00～11:17 ・委員11人 傍聴人 2人	【協議事項】 ・庄和地区の活性化に向けた取り組みに ついて（意見集約シート）（意見交換） ・地域内の交流を活性化させる地域交流 イベントの開催について ・今後のスケジュールについて	・よりよい庄和地域とは何かを十分に時間をかけて 議論する。 ・よりよい庄和地域づくりを、地域内の交流の活性 化（地域交流イベントの開催）と定義する。 ・地域全体が集うイベント（地区体育祭や公民館ま つり）への参加者を増やす具体的なアイデアを検討 する。		
		第3回	・令和8年1月30日 (金) 14:00～16:24 ・委員12人 傍聴人 1人	【協議事項】 ・庄和地区地域づくりに関しての意見交換 ・中間報告書（案）について	・PRのため、市民センターの情報をSNSで発信 するための方法を検討する。 ・市民センターの関心を高めるため、公民館だより の内容の充実を図る。 ・庄和地域が北部、中部、南部の3つに分かれ、 それぞれに独自の地域性がある。 ・世代間交流を深めるための具体的なイベントを 検討する。		
		第4回	・令和8年3月6日 (金) 10:30～11:39 ・委員11人 傍聴人2 人	【報告事項】 「庄和市民センターを拠点とした地域住民 主体の地域づくりについて」中間報告 【報告者】 庄和地区地域づくり推進協議会長 細谷 悟	委員からは、次のような意見が出された。 ・子どもと庄和地区の話をする機会、会話が増えた。 ・地区の良いところしか見えなかったが、課題につ いていろいろ考えるようになった。 ・地域をいかによくするか考えてくれている場があ ることに感激した。 ・既存のものを活性化させること、市民の力を借り 発展させるアプローチを考えたい。 ・自分の地域、自治会しか考えなかったが、全体を 考えるよいきっかけとなった。 ・地域の中の学校のあり方を考えさせられた。地域 との繋がりは思うより潜在的にある。		